

## 細方眼のボードートバッグ

\* - \*



- 使用糸…クラフトクラブ  
(ダルマ毛糸)
- 使用針…かぎ針7号
- 使用量…約6玉弱
- その他の材料：市販の持ち手
- サイズ…底直径約17cm  
高さ約20cm

\* - \*

## ■ 編み方

- ① わの作り目をし、細編み6目編みいれます。1段ごとに6目ずつ増し目し、18段目まで編みます。
- ② 続けて細編みの方眼編みで3目から2模様ずつ目を拾って側面の1段目を編んでいきます(72模様)。
- ③ 2段目は細方眼を編みますが、前段から目を拾うのではなく、前々段の細編みを拾って編みます。その際、前々段に細編みがない場合は、向かって左側の細編みを拾って編んでください。
- ④ 3~8段目は、増減なしに細方眼を編みますが、前々段の細編みを拾って細編みを編みます。
- ⑤ 9段目は細編みを1周、増し目しながら編みます。  
8段目が72模様(144目)なので、細編み23目+細編み2目編み入れる(1模様25目)を繰り返して、1周150目編みます。
- ⑥ 10~16段目は、増減なしに、前々段の細編みを拾って細方眼を編みます。
- ⑦ 17段目は⑤と同じように細編みを編みますが、6目増し目するので、細編み24目+細編み2目編み入れる(1模様26目)を繰り返して、1周156目編みます。18~24段は増減なしで細方眼を編みます。
- ⑧ ⑤⑦と同じ法則で、8段毎に6目増し目しながら編んでいき、好きな高さになったら、糸を切ってバッグ本体は完成です。
- ⑥ 市販の持ち手を付けてください。

側面に入ったら、立ち上がりをつけずに、グルグルとらせん状に編んでいきます。

編み始めの位置が分からなくなりますので、段数リングなどを最初の目に入れながら編んでください。

また、細編みを編むとき、前段が鎖編みの時は、鎖編みは拾わず、前々段の細編みから目を拾います（編み図では赤で描かれている細編みは前々段を拾います）。

ただし、側面の2段目だけは、前々段に目がないところがありますので、向かって左側の目に細編みを編みます。

増し目についてですが、下ののように、8段毎に6目ずつ増し目していきます。

25段目：細編み25目+細編み2目編みいれる（1模様27目）を6回繰り返す、1周162目編む。

33段目：細編み26目+細編み2目編みいれる（1模様28目）を6回繰り返す、1周168目編む。

41段目：細編み27目+細編み2目編みいれる（1模様29目）を6回繰り返す、1周174目編む。

49段目：細編み28目+細編み2目編みいれる（1模様30目）を6回繰り返す、1周180目編む。

57段目：細編み29目+細編み2目編みいれる（1模様31目）を6回繰り返す、1周186目編む。

64段まで編んだら、お好みで細方眼を2~3段編み足して糸を切ります。

サイズ変更については、特にルールはありません。

側面の1段目は3目から2模様拾うので、底の最終段の目数が3の倍数になっていなければいけません、底は6目から編み始めて6目ずつ増えていくので、どの段でやめても、3の倍数になります。

高さはお好みで変えてください。

※ 編み図は次のページにあります。

25段目以降は、

25段目で「細編み25目+細編み2目編みいれる=1模様27目を6回繰り返す」→1周162目  
26~32段目は、細方眼を編む。

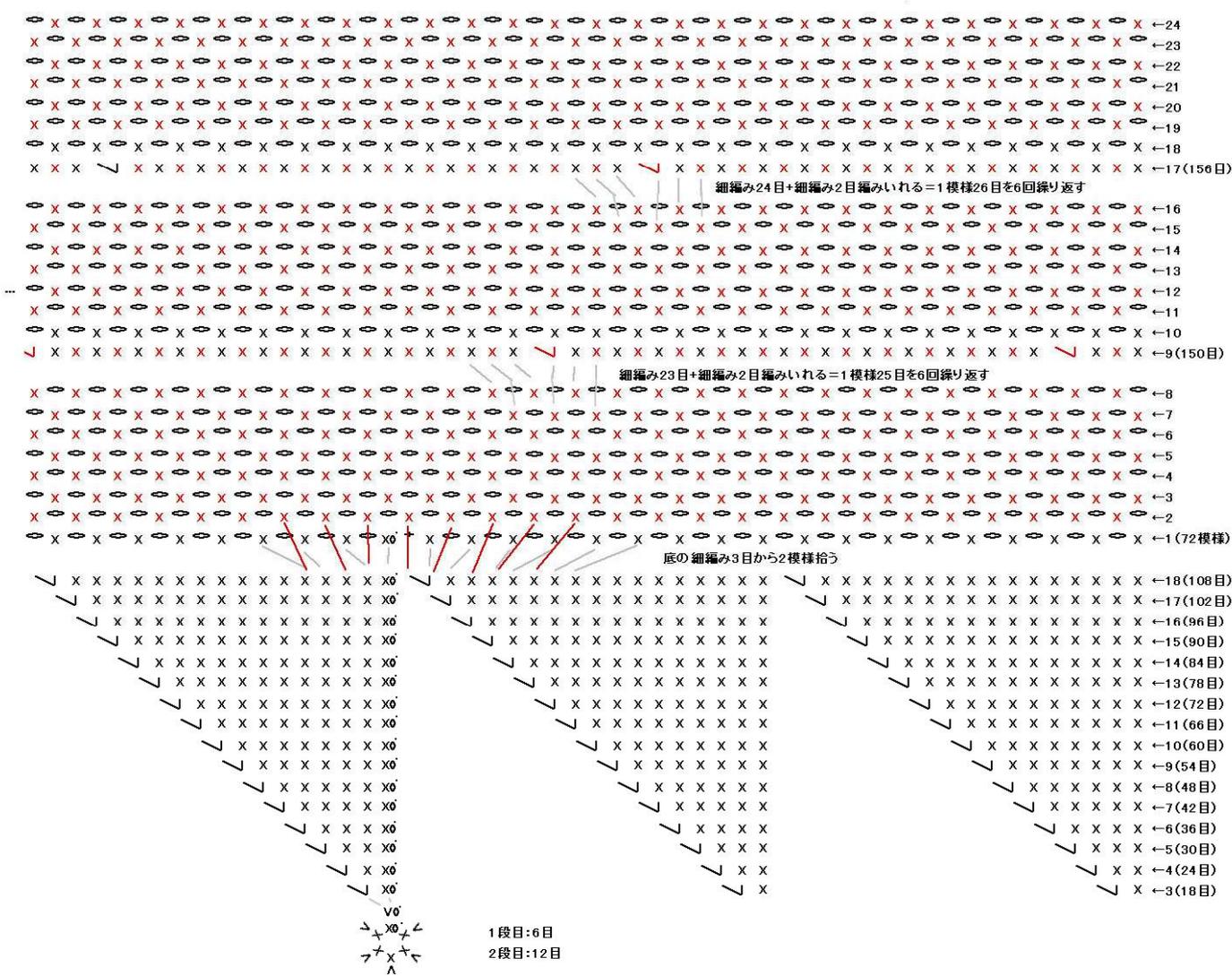
33段目は、「細編み26目+細編み2目編みいれる=1模様28目を6回繰り返す」→1周168目  
34~40段目は、細方眼を編む。

このように、8段1模様で、1模様の最初の段で細編みを編みますが、6目ずつ増し目していきながら編みます。  
写真のバッグは、側面を64段編み、最後に2段ほど細方眼を編んでいます。

側面の2段目以降は立ち上がりをつけずに編んでいきます。

各模様の増し目は、好きな位置で入れてください。

写真のバッグでは、模様の最後に増し目を入れてます。(9段目なら23目編み増し目1回を6回繰り返します)



編み図の中の赤い細編みは、前々段の細編みを拾って編みます。

側面2段目で、前々段に細編みがない場合は、指定の位置の細編みの頭を拾って編んでください(向かって左側の細編みを拾います)。